

授業科目名	対象学科・専攻	年次	期別
教育心理学 Educational Psychology	児童教育学科 幼児教育学専攻	1年次	前期
科目	施行規則に定める科目区分又は事項等		
教育の基礎的理解に関する科目	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	教員免許状取得 必修/選択必修	担当教員名
			鄭 曉琳
講義	2	必修	担当形態
			単独
全体目標及び概要			
<p>教育心理学とは、教育における人間の営みに関する心理学であり、発達心理学や学習心理学、言語心理学、脳科学などの知見を教育に応用する学問である。</p> <p>子どもの課題や問題解決に必要な知識の習得並びにより有効な教授・学習方法について学ぶ。家庭や社会的背景と子どもの発達をもとに教育心理の理解を深め、教育実践に結びつけることができる。</p>			
一般目標及び到達目標			
<p>(1) 教育心理学の基礎的な知識が身につく。</p> <p>1) 様々な学習形態や概念及びその過程を説明する代表的理論の基礎を身に着ける。</p> <p>2) 主体的学習を支える動機づけ、集団づくり、教育評価の在り方について説明することができる。</p> <p>3) 幼児、児童及び生徒の心身の発達を踏まえ、主体的な学習活動を支える指導の基礎を身に着ける。</p> <p>(2) 教育という営みを心理学的な観点から分析できる。</p> <p>1) 教師観、教師の役割、学習者の影響について説明できる。</p> <p>2) 友人関係の発達、道徳性の発達、自己意識の発達、他者理解の発達について説明できる。</p> <p>3) 協調的問題解決能力や主体的な学習能力が強調される学習について評価する方法を説明できる。</p> <p>4) 児童生徒の特性や状態を適切に評価した上で、それに応じて指導方法を選択できる。</p> <p>(3) 学校という現場を心理学的な観点から内省できる。</p> <p>1) 人間の成長過程において、子ども時代の課題と教育の役割を内省できる。</p> <p>2) 学級内での人間関係、教師の影響、集団力学を理解することで学級運営についての自らの考えや見解を深めることができる。</p> <p>3) 学校教育で問題になっている諸事項について、教師として自分がどうすべきかについて内省できる。</p>			

授業内容と進め方		
回数	授業内容	到達目標の番号
1	教育心理学とは何かについて概観する	(1)-1)
2	ライフサイクルにおける心理的特徴を理論的に学び、各段階における課題と特徴について概観する	(1)-1)、(1)-3)
3	乳幼児期～幼児期の発達の特徴と課題について理解する	(1)-1)、(1)-3)
4	学童期～思春期の発達と特徴と課題について理解する	(1)-1)、(1)-3)
5	青年期の発達と特徴と課題について理解する	(1)-1)、(1)-3)
6	個性と学習における個人差について理解する	(1)-3)、(2)-2)、(3)-1)
7	不登校・いじめなどの問題を発達の観点より理解を深める	(2)-1)、(2)-2)、(3)-3)
8	学校における児童生徒の学習活動と、それを支援する教師の教育活動について概観する	(2)-1)、(3)-1)、(3)-2)
9	外発的動機づけと内発的動機づけについて、様々な研究例と実践例を通して具体的に学ぶ	(1)-1)、(1)-2)、(1)-3)
10	生徒のやる気を高めるにはどうすればよいか？内発的動機づけを育てる方法について学ぶ	(1)-1)、(1)-2)、(1)-3)、(2)-1)
11	児童生徒の主体的な学習としてのアクティブラーニングについて理解する	(1)-3)、(2)-1)
12	学力や知力の獲得に対する評価の在り方について学ぶ	(2)-3)、(2)-4)
13	学級内での人間関係や教師の影響について理解する	(2)-1)、(2)-2)
14	様々な研究例と実践例を通して集団力学について概観する	(2)-1)、(2)-2)、(3)-2)、(3)-3)
15	発達障害における学習困難と支援方法について理解する	(1)-3)、(3)-1)、(3)-3)
成績評価方法	授業への取り組み・グループディスカッションへの参加(関心・意欲・態度)30% ワークシート(思考力・表現力・判断力)30%、定期試験(知識・理解)40%	
テキストおよび参考文献	テキスト：『教育心理学』山口短期大学 参考文献：『やさしい教育心理学』有斐閣アルマ	
メッセージ	本授業では、子どもの特性、学習指導と教育評価の3つの観点から教育活動を捉え、その内容ごとに事例を挙げながら解説する、教育心理学の基礎的な理論および実践的知識・技能の習得を図る。	